

令和6年度 第2回瑞浪市文化財審議会 会議録

■日 時：1月21日（火）14時00分から15時30分まで

■場 所：瑞浪市陶磁資料館（常設展示室）、瑞浪市化石博物館（別館：研修室）

■出席者：青木本吉、小木曾健夫、小栗幸江、小倉明人、澤井計宏、三戸憲和
柴田明芳、渡邊敏博

欠席者：小栗 茂

事務局：水野課長、砂田係長、河野主査

■あいさつ

（内容は省略）

■審議事項

（1）文化財の指定について

（瑞浪市陶磁資料館にて文化財指定申請書が提出された白磁ディナーセットを
実見し、事務局から作者や来歴等について説明）

（その後、瑞浪市化石博物館に移動して審議）

会 長：それでは、実見した文化財の指定について審議する。事務局からの説
明を求める。

事務局：今回の審議では、まずは申請された1組の白磁ディナーセットが指定
に相応しいかという点についてご審議いただきたい。また、事務局で
は申請のあった1組以外にも文化財的な価値を有するものがあると
認識しているので、現在寄託をうけているその他のディナーセット等
についても文化財指定が望ましいものがあるかという点についても、
ご意見をいただきたい。

会 長：それではまず、申請された1組の指定について、ご意見、ご質問等が
あれば発言をお願いしたい。

委 員：申請された1組が製造された昭和10年代は、ディナーセットを製造
できる国内メーカーは10社程度しか存在せず、日本陶器（ノリタケ）
の関連会社が5社を占めていた。当時のディナーセットは難しい製造
工程を経た高級品であり、ノリタケと競合した曾根磁叟園製陶所のデ
ィナーセットが現在まで伝え残されている点は、当市の近代陶業史に
おいて意義深く、文化財として今後に残すべきだと考える。

委 員：これだけの品質の製品が焼成されていること、また良好な状態で保存
されていることは文化財的に高く評価できると考える。戦前でこれだ
けの優品を作る生産体制を確立したことを評価する。

委 員：実見したところ、申請された1組はかなり薄手に製作されたと見受け
られた。洋食器はサーバー（給仕人）が運びやすい薄手のものが好ま
れ、高級品を作ろうとした努力をうかがい知ることができる。曾根磁

叟園製陶所の技術を象徴する製品として高い価値がある。また、他にも同様の価値を有する製品があると認められるので、1組だけでなく一括指定が望ましい。

委員：製品の製造年代等については、箱書もあることから間違いないと思われるが、箱書きの正確性や真実性等については確認してあるのか。

事務局：現在までに確認はしていないが、名古屋市史等に博覧会についての記載があると思われるので、それらの記録を確認する予定である。また、94ヶ揃のアイテム数やその保存状況等についても確認が必要であると認識している。

会長：文化財指定に前向きな意見が多数出されたため、申請された1組については、文化財の指定に相応しいものと考えるのがいいか。

【異議なしの声】

会長：それでは、本件は文化財に相応しいものとして判断する。次に寄託をうけている他のディナーセット等も併せて指定するのが望ましいかという点についてご意見、ご質問等があれば発言をお願いしたい。

委員：文化財を指定する場合、所有者に何らかの責務が生じたり制限がかかることはあるか。

事務局：文化財保護条例では、所有者に文化財の管理責任を課している。また、公開について市から勧告を行うことができると定めている。なお、申請書が提出されたものを含めて現在の展示品は寄託品であるが、近い将来に市へ寄贈していただく方向で所有者と交渉を進めている。指定後に市が寄贈を受ける場合、市が管理責任を負うこととなる。

委員：相当数の寄託品があるものと推測するが、すべてを指定対象とするのかは議論が必要である。

委員：瑞浪市の近代陶業史という観点からは、なるべく多くの製品を指定するのが望ましいと考える。しかし、全製品となると指定までにかなりの時間を要することが危惧される。例えば、時代を特徴づける製品をピックアップして指定するのはどうか。

事務局：それであれば多くの時間は要しないと思われる。

委員：他の製品の文化財指定も望ましいと考える。ただし、寄託品の内容や数量を把握しているのは事務局であるので、事務局に指定対象となる製品のピックアップをしていただくのはどうか。

事務局：承知した。それでは指定対象の案を今後の審議会で示したい。

会長：これまでのご意見では、申請があった製品以外にも複数の製品の指定が望ましいとの意見が出されたので、対象製品の案を事務局に示してもらい、今後その審議を行うこととしたいがどうか。

【異議なしの声】

会長：それでは、今後の審議会において指定対象の事務局案を示していただきたい。また、先ほど話があったように申請のあった1組についても

市史等の記録の調査、アイテム数やその保存状況等の確認を行っていただくようお願いする。

(2)「文化財防火デー」防火訓練について

(事務局から開催日時、委員は自由参加である旨を説明)

(3) 次回審議会の開催について

(委員の予定の聞き取りを行った結果、3月6日(木)に開催する予定とし、最終的な日時の決定は、欠席委員の都合を事務局が確認した上で決定することとした。)

【散会】